



ソーシャルスキルトレーニング絵カード

小学生低学年版 2

言動と反応の対比

構成：A 5判45 枚組

1	言わないと分からないので、外出の時にはお母さん（お家の人）に、行き先と帰る時刻を伝える。
2	教室にいなかったお母さん（お家の人）は知らないので、宿題は自分で連絡帳に書いて帰る。
3	友達が留守の時は家の中に入らず、そのお家の人に用事だけ伝えて帰る。
4	家に来たお客さんに対していきなり話しかけたりせず、まずは挨拶をする。
5	良く知っている人に出会った時には、その場にふさわしい挨拶をする。
6	周りにいる子も並んでいることを理解し、気持ちを抑えて一番後ろに並ぶ。
7	電車で、人を押しのけてまで座席に座ろうとせず、立つべき時は立っておく。
8	だますつもりの人もあるので、きっぱりと断わっても良い時があることを知る。
9	知らない人の車には絶対に乗らず「いかのおすし」を思い出し行動をする。
10	「机に落書きをしない」というのは「椅子なら良い」という意味ではなく「机であっても椅子であっても落書きそのものをしない」という意味だと知る。
11	「何でも食べる」というのは、単純に「何でも食べる」ことではなく「健康のために色々な食べ物を食べる」という意味だと知る。
12	ゴミ拾いの目的は、ゴミを数多く集めることではなく、ゴミをなくしきれいにすることだと知る。
13	「何回 言わせるの！」は回数を聞いているのではなく「何回も 言っているのに まだ分からないの！」という意味だと知る。
14	「粘土を持って帰る」とは、粘土だけではなく粘土ケースや粘土板などの粘土セットを持って帰ることだと知る。
15	「カードを落としたらバスに乗れないよ」というのは「カードをなくさないように気をつけて」という意味だと知る。